

# 老上まちづくり

平成24年11月 1日発行

発行：老上学区まちづくり協議会

事務局：老上市民センター（公民館）

TEL（専用） 564-3350

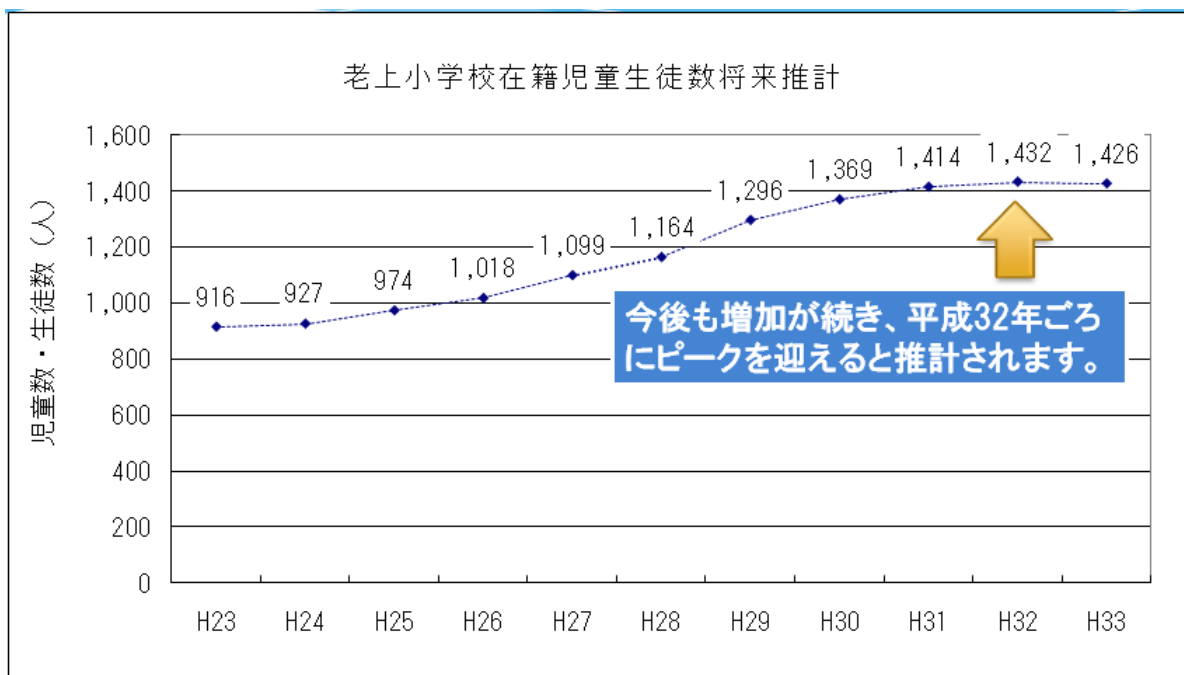
FAX（専用） 564-3331

老上小学校の分離新設に係る校区案については、教育委員会から二案（南北案及び東西案）を提示・説明いただき意見を求められておりましたが、今般、当評議員会の表決により東西案とすることで意見集約し、教育委員会にその旨報告する事に致しました。

地域の課題を話し合い、みんなの力で解決して自分たちの望む住みよいまちづくりを進める住民が主体の新しい自治組織であります老上学区まちづくり協議会が発足して9か月になろうとしております。

平成24年度の計画事業について、敬老会は、9月17日の敬老の日に多くの方々の参加を得て盛大に開催することができましたが、老上ふれあいスポーツ大会の開催については、台風17号の影響によりやむなく中止することになりました。現在、11月10日(土)～11日(日)のふれあい老上まつり開催に向けて準備に取り組んでいます。

さて、平成24年5月29日、教育委員会から当協議会の理事、評議員、監事及び顧問の皆さんを対象に「老上小学校の現状と分離新設に係る今後の取組みについて」説明をいただきました。老上小学校の児童数と学級数の現状は、それぞれ927人・35学級で既に過大規模校【31学級以上】となっており、今後においても老上学区の人口増加に伴い、益々過大規模校化が進むことが予想され、授業や学校行事に影響がでるなどの問題が生じることになり、この過大規模校化を解消するため、老上小学校の分離新設計画を検討しているということでありました。



(教育委員会資料)

また、同年8月7日開催の理事会において「老上小学校の分離新設に係る校区案について」説明をいただき、意見を求められましたが、小学校区を分割することについては、単に通学区域だけの問題にとどまらず、

まちづくりや地域づくり、そして、社会教育関係団体等の活動範囲等に影響することとなり、様々な課題があると考えておりますことから、提示いただきました校区案に対して意見等を申し上げるまでには至りませんでした。

このような中で、老上小学校の校区分割に伴う課題について、次の三点にまとめて要望いたしました。（要約）

1. 社会教育関係団体等の活動拠点施設として市民センター（公民館）を新設校の整備と併せて整備すること
2. 新設校の児童が通所することになる「のびっ子施設」を整備すること
3. 町内会組織の設立促進について積極的な行政指導に取り組むこと

教育委員会の回答は、次のとおりであります。（要約）

1. 市民センター（公民館）の建設用地については小学校用地と併せて確保します。施設の建設時期については今後の地域活動の状況や住民の皆様の機運を大切にして検討します。
2. 「のびっ子」施設の整備に向けて準備を進めます。
3. 町内会等の設立に向けた取り組みの支援を行っております

この回答をうけて、校区案（南北案及び東西案）について同年9月24日開催の理事会において協議いたしました。次に掲げる事由により、東西案とすることで意見集約いたしました。

【事由】平成34年度以降は推計されていないことから南北案、東西案のそれぞれにおいて、増加傾向が続くのか、減少傾向に転ずるのか不明であります。次の二点について熟慮する

○老上小学校を将来において、再度分離することがないようにすること

○老上小学校と新設校の児童数（新設校の開校時、それぞれ南北案では721人：443人、東西案では595人：569人となる）のバランスを確保すること

そして、同年10月13日に評議員会を開催し、改めて校区案について教育委員会から説明願ひ、また、校区分割に伴う課題についての回答を報告した後、校区案について審議いただきました。表決の結果、東西案とすることで意見集約したところであります。

老上学区まちづくり協議会として校区案について意見集約したことを、教育委員会に報告することにいたしております。



H24年9月17日

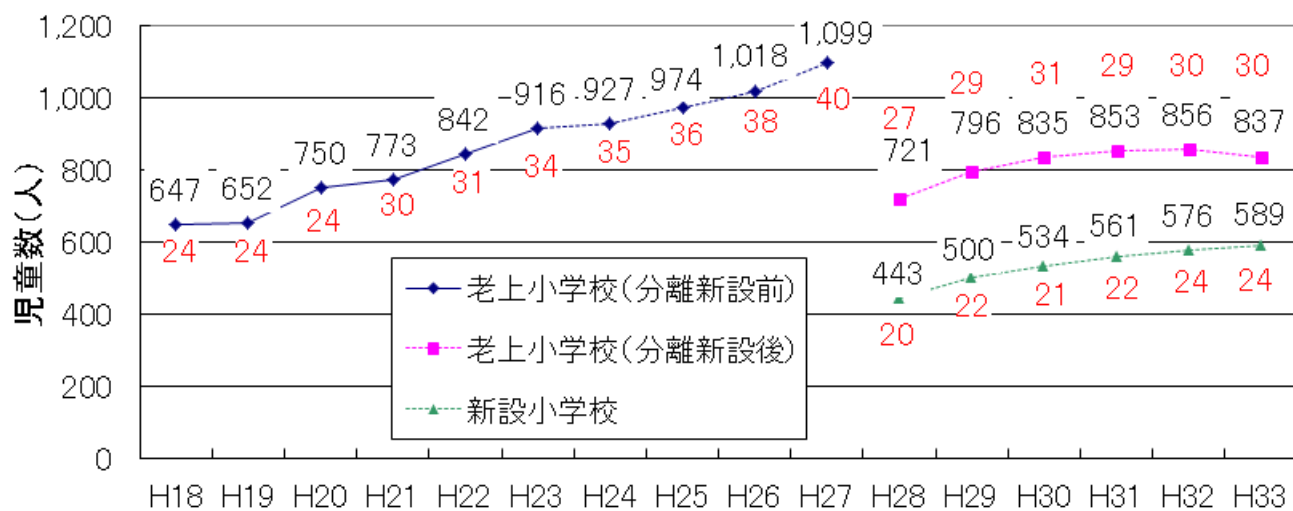
敬老会の様子



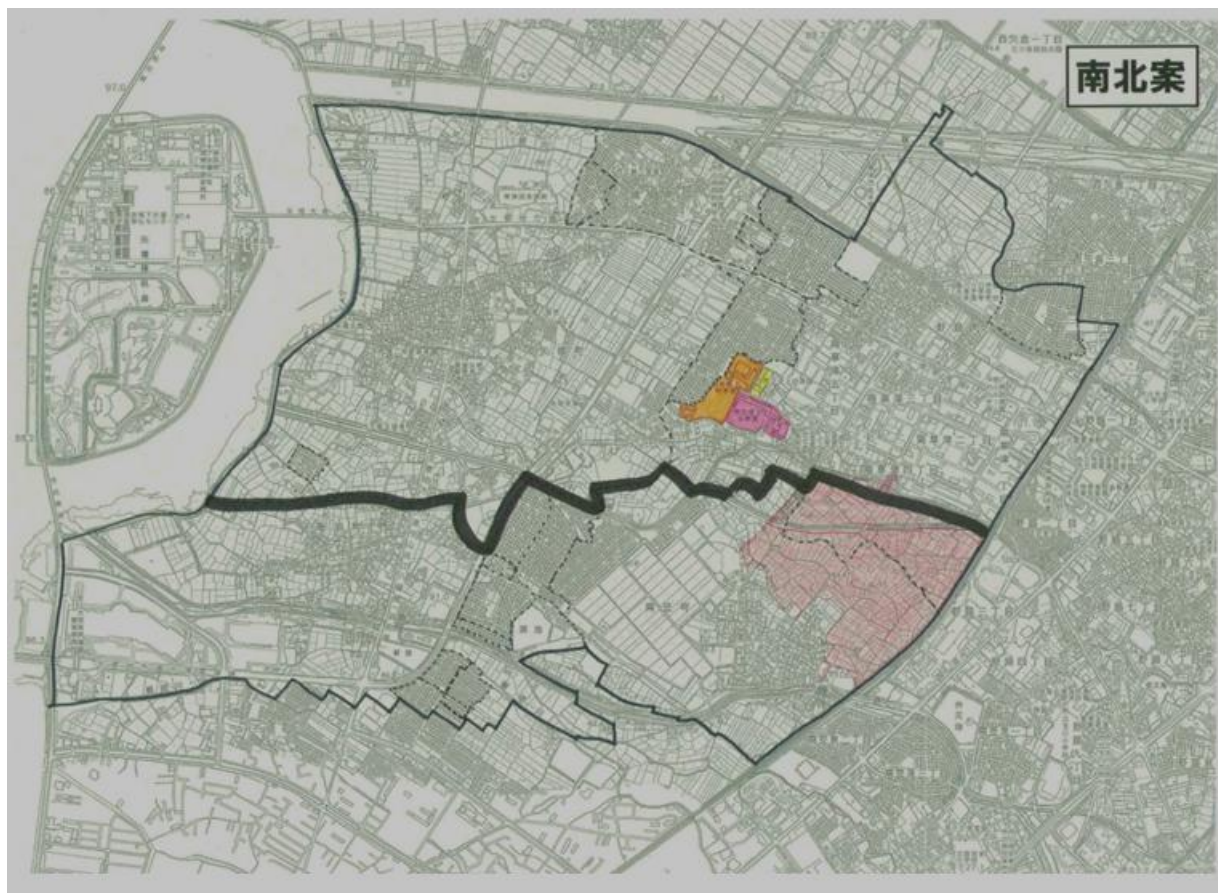
H24年10月13日

評議員会の様子

### 南北案による学校別児童数将来推計

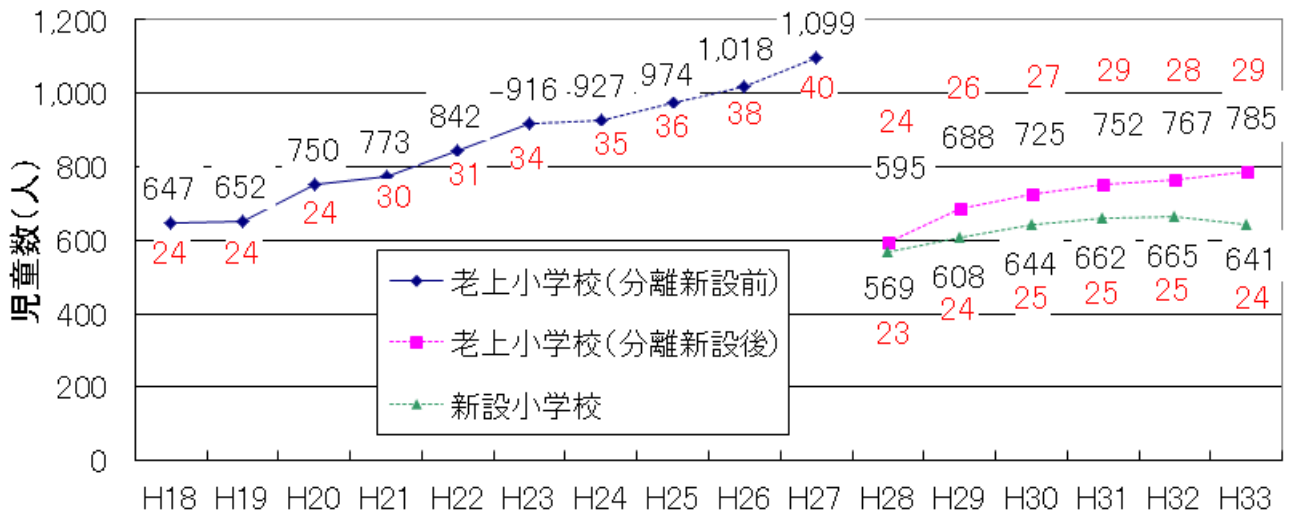


※2ケタの数字は全校クラス数を示しています。新設校は、平成28年開校を想定しています。(教育委員会資料)



(教育委員会資料)

## 東西案による学校別児童数将来推計



※2ケタの数字は全校クラス数を示しています。新設校は、平成28年開校を想定しています。  
(教育委員会資料)



(教育委員会資料)